

知多市子ども読書活動推進計画（案）のパブリックコメント実施結果

- 1 実施期間 令和2年12月18日（金）～3年1月22日（金）
 2 意見の提出方法 書面で直接、郵送、ファクシミリ又は電子メール
 3 意見の提出者数 2人（4件）

No.	章	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
1	—	—	—	新型コロナウイルス感染症への対応が言及されていない。十分な配慮・対策が望まれる。	新型コロナウイルス感染症対策の重要性に関しては、十分認識しております。国及び県からの指針や知多市新型コロナウイルス感染症対策本部の方針に基づき、対応してまいりますので、計画には記載しません。 しかし、コロナ禍においても読書に親しむ機会の充実が必要であると考え、電子書籍など新しい書籍の提供方法を検討していきます。
2	—	—	—	やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやる。保護者への教育が必要なのではないか。	本市では、保護者の方に、読み聞かせが乳幼児期の感受性を育む上で重要であることを理解し、生活に取り入れてもらえるよう、「ブックスタート事業」の際に実演を交えて伝えています。今後も事業を継続することで保護者の方への子ども読書活動啓発に繋げていきます。
3	—	—	—	読書は楽しいものだと子どもたちに伝える具体的方法として、子ども向けの読書会を行うのはどうか。	本市では、乳幼児親子を対象に、絵本の読み聞かせとブックリストの配布を行う「ブックスタート事業」のほか、中央図書館と学校との連携事業として、ブックトークやビブリオバトルなど、子どもたちが本に興味を持てるような取組を実施しています。頂いたご意見は、今後の事業検討の参考とさせていただきます。
4	—	—	—	子ども会とボランティアをつなぐ工夫・努力が期待される。それぞれがそれぞれの活動で精一杯で、機会（縁）が少ないと思うが、成功例をつくれたら素晴らしい。地域、特に子ども会に目を向けて頂きたい。	本計画では、学校、家庭、地域及び図書館が相互に連携・協働することを目指しています。そのための取組項目の一つとして、「保護者やボランティアとの連携による読書活動の推進」を掲げており、子ども会を含めた地域で活動する団体やボランティアが連携することができるよう努めていきます。